でんち

一般社団法人 電池工業会
BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

〒105-0011
東京都港区芝公園三丁目5番8号
機械振興会館内
電話（03）3434-0261（代）
ホームページ https://www.baj.or.jp/
ご意見・お問い合わせ https://www.baj.or.jp/contact/
発行人　清水義正

2026年11月号

2026 年度　第 1 回二次電池部会を開催

2026 年 10 月 8 日（木）、遠山部会長（エナジーウィズ株式会社）を議長に 2026 年度第 1 回二次電池部会を Web 会議で開催した。開催に際して、「BAJ 競争法コンプライアンス・ルール」を遵守することを確認したのち、部会長ならびに、専務理事より挨拶があった。続いて前回議事録の確認後、各委員会代表者より、これまでの活動報告を行った。

1．部会長挨拶（遠山部会長）

各委員の皆様には日頃の工業会活動へのご尽力を感謝いたします。

鉛電池は長年にわたり私たちの社会インフラを支えるとともに、回収や再資源の仕組みが確立している循環性が高いという強みを持った電池です。一方、用途の多様化などにより安全性や環境配慮性への要求は非常に高くなってきています。

我々として優位性に立ち止まることなく、強みをより強固にしていくための活動が二次電池部会の活動であると認識しており、本日は皆様の活動の成果と課題を共有することにより、今後の事業優先順位を確認していきたいと思っています。

限られた時間の中で有意義な議論ができればと期待していますのでよろしくお願いいたします。

2．専務理事挨拶（清水専務理事）

9 月 4 日に北海道で正賛合同会議を開催いたしました。出席者は正賛合わせて 148 名と言うことで、懇親の場も含めて積極的な交流がなされ、大変有意義な機会であったと思います。

また、今年度の部会活動も半分が終了と言うことになり、10 月には事業計画の進捗中間チェックを実施していきたいと考えています。各委員会におかれては、積み残しがないよう後半の活動もしっかりとやっていただくことを期待しています。

3-①．各委員会 26 年度上期活動報告及び下期活動計画

各委員長より 2026 年度上期活動実績および下期活動計画の報告がされた。

◆広報総合委員会

＜主な報告＞

・PR 活動；以下 3 つを重点テーマ（①「コイン・ボタン形電池の誤飲事故防止」、②「自動車用バッテリーの定期点検、買い替え促進」、③「小型充電式電池の回収リサイクル」）として活動を実施してきているが、今年度はデジタル広告の比重を増やした活動をしています。
自動車用バッテリーについては 8 月 1 カ月間、Google のオンデマンド広告を使用した、啓発広告を実施した。資料の図にあるように web 上に広告バナーを出して興味を持った方がクリックをすると、工業会 HP の該当箇所に飛ぶような仕組みとなります。
効果検証の結果、335 万回の表示回数、そこからクリックにつながったのが約 14 万件、クリック率で 4.1%、またさらにページに 1 分近く滞在し

ていただいた、つまり読んでいただけたと思われる件数も 8 万件余りと評価できるような結果になっていると考えています。
その他にもラジオ広告等を実施する予定です。

・イベント活動；①経済産業省 “こどもデー”に出展、②手作り乾電池教室 9 月までに 12 件の開催

◆国際環境規制総合委員会

＜主な報告＞

・欧州委員会 ELV 規則を公布、ELV 規則では対象車両に対する 4 物質制限の規定が存在するが、電池へは適用されない。電池に対する規制は電池規則に一本化された。
・米ミネソタ州 PFAS 含有製品規制法、報告対象を「2023 年 7 月 1 日のあとに製造された」製品に限定
・米加州当局、対象電池内蔵製品制度の緊急規則に関する技術的修正案を提示、これは機器に電池が内蔵され容易に取り外せない製品に適用されるものです。
・ベトナム、拡大生産者責任に関する規制を刷新する政令を公布。製造者、輸入者に対するリサイクル責任、廃棄物処理責任に関する政令となっており、電池（鉛電池を除く）についても種類ごとにリサイクル率が定められている。
・中国 RoHS の第 2 次基準到達管理目録及び適用除外リストを発表、18 年度版から品目分類が変更され、新たにモバイルバッテリーなど 23 品目が追加された。
・台湾環境部、水俣条約の改正に基づき乾電池規制公告を改正 ボタン電池の水銀含有制限値を 1ppm 以下
・チリ、使用済電池及び廃電気電子機器の収集・リサイクル目標と義務の政令を公布、重量 5kg 以下の電池が対象、リサイクル目標が定められ 28 年度目標が 3％となる。

◆資材委員会

＜主な報告＞

共有金型管理状況について資料に基づき報告。今年度更新計画 2 型あったが、更新を見合わせ。

・不稼働金型の保管費用支払いについて、取適法（中小受託取引適正化法）により、一年間発注のない金型を外注先に保管させる場合の保管費用の支払いが明記されたため、委員会経由で保管料の取り決めをすることにつき弁護士と相談した結果、競争法上の問題があるとのことで、費用の交渉は個社で行うことをルール化（「共有金型の保管費用に関する共通ルール」）することにした。また、不要な金型がないかなどの精査を再度実施中である。

◆自動車用鉛電池リサイクル委員会

＜主な報告＞

・2026 年度上期 SBRA リサイクルシステムの運用状況報告；資料に基づき報告された。排出事業者登録件数は 8 月時点で純増 9 件(新規 14 件、削除 5 件)。業種別ではガソリンスタンド自体が全国的に減少している影響を心配しているが現時点では大きな影響はない。また、国内 2 位のホームセンターグループである DCM が有価売却に切り替えた影響については、8 月末までは回収量の減少は確認されていない状況です。
・26 年度上期回収量及び解体量についてはそれぞれ、4,477ton、4,468ton であり、昨年同期並みの水準を維持している。
・受託中小企業振興法に加え、28 年に施行予定の改正貨物自動車運送事業法も見据えて、業務委託費の適正化に向けた協議を事業者と実施している。また、事業者の高齢化等の影響で事業者数の減少が顕著となっており、代替事業者の確保が重要なテーマとなってきている。
・不適正ヤードへの対応；スクラップヤード環境対策検討会が 9 月までに 3 回実施されており、SBRA と協力しながら、適正事業者へ過度

な負担とならず、不適切なヤードを取り締まれる仕組みとなるよう省庁への働きかけを行っている。

◆二次電池技術委員会

＜主な報告＞

・各活動テーマの進捗状況について資料に基づき報告された。

◆IEC 関連；60095-8(自動車補機用鉛電池) 7 月に FDIS が発行され内容に変更はなかったため賛成投票済みで IS 発行待ちの状況。63711-1(ナトリウムイオン電池 12V 自動車始動用) 25 年度に IEC 化が決定され、BAJ として 3 名をエキスパート登録し参画中、まだ容量測定法などの評価方法の検討中で CD 発行の前段階での情報収集となっている。

◆JIS 関連； C 4402(浮動充電用サイリスタ整流装置) 8 月素案作成委員会を通過し日本規格協会(JSA)へ原案提出済み、来年初めに規格化されると予想。C 8704-1(据置鉛蓄電池 - ベント式) 26 年度に JSA へ公募し改正作業中、10 月素案作成委員会開催予定。

◆SBA 関連；詳細は資料によるが改正作業 5 件、改正要否判断 4 件を実施中。

◆国際会議対応；上期に ALBA(The Automotive Lead Battery Advancements)関連の workshop および TC21/WG2 が開催され、2 名を派遣し 60095-8 に関わる初期と寿命末期でのチャージリカバリー性などの評価結果を報告した。

◆ブラジル INMETRO 規則；情報のみとなるが、認証ラベルが変更になるという改正ドラフトが 8/3 に公布されており、施行された場合には 27 年 7 月の陸揚げ車から対象になるということで、必要に応じて委員会対応を検討します。現時点では個社対応になると考えている。

◆ＰＬ委員会

＜主な報告＞

・爆発事故発生状況について国土交通省への定期報告；爆発の約半数がバストラックでの発生と言うこと、例年同じような傾向であること、またその要因の 8 割が液減りであり、啓発活動として会報誌への掲載などを実施していることを報告。その際に爆発件数の減少に伴って、定期報告の回数や必要性などを確認した結果、電池業界との接点が他にはあまりないということで、継続していくことを要望されたため、今後も年 1 回の報告は継続するとした。

・「安全確保のための表示ガイドライン」2026 年度改正；各技術分科会に内容確認を実施し整合を取ることができた。12 月発行に向けて印刷の最終チェックを行っている段階。

・nite に関する報告ルール見直し；これまで不明瞭であった用途外を含めた自動車用鉛蓄電池の重大及び非重大製品事故の場合の報告先、ならびにその他産業用用途などの鉛電池の重大及び非重大製品事故の場合の報告先が確認できた。自動車用鉛蓄電池の場合はいずれも国土交通省、その他産業用用途電池の場合には所轄官庁又は nite が報告先となる。これらの結果を整理し、各委員会会社へ通知する予定です。

・安全啓発用リーフレットの製作；改訂予定 1 件 TS-017（バッテリーの排気チューブとキャップを確実に取り付けて）、25 年度に作成し業界団体の会報誌に載せていただくなどで啓発へ活用してきたが、一部のカーメーカーから表現についての指摘があり、見直しを実施している。

・爆発事故発生件数を図 2 に基づいて説明、件数は少なく推移しており、用途別でも例年の傾向と変化はなかった。爆発の推定原因（図 3）については液切れ(79%)によるものが多いため、メンテナンスについての啓発活動を継続する。

・26 年度は関連業界への啓発活動を積極的に行ってきています。全日本トラック協会では先方

会報誌への TS-008(プロユーザー向けバッテリー爆発防止啓発リーフレット)掲載の実現、日本整備士連合会でも先方会報誌へ新規に作成した「バッテリーの日常点検と早めの交換」リーフレットの掲載を実現し、啓発活動を行った。

◆産電リサイクル委員会

＜主な報告＞

・広域認定 331 号変更申請、環境省本省 4 月 15 日認定証発行

・共同広域認定　FB の法人格変更により 331 号での回収が不可となったため、新規申請が必要になり、今期その準備と申請を進め、9 月 10 日に新たな広域認定証（379 号）を取得できました。

・広域認定の作業手順をマトリックス化してまとめてきているが、環境省からの指導の変更に伴った手順書変更を順次行っています。

・広域回収量の環境省報告は 6 月、小型制御弁式電池回収量の経産省報告は 8 月に実施完了。

・今後として 379 号の取得に伴って、331 号の速やかな廃止を環境省から要求されると思うので、各社の状況を把握しながら廃止手続きを行っていく予定です。

◆環境委員会

＜主な報告＞

・欧州電池規則関連；第 7 条（ラベル表示・マーキング）実施法ドラフトが 25 年 12 月公開されていたが、まだ法が公示されておらず適用開始が予定(26 年 8 月)から大幅に遅れ 28 年以降になると想定している。第 8 条（リサイクル原材料）委任法ドラフトが本年 8 月公開された、パブコメもすでに完了しており、BAJ(BASC 連名)として 7 件のコメントを提出済み。

・SDS ガイドライン改訂；根拠規格となっている JIS 改正に伴う改訂を実施中、法では改正後 5 年の猶予があるが顧客要望もあり変更に着手開始、27 年 1 月に電解液の SDS、鉛電池の PIS ひな型改訂を完了予定で進めている。英語版についてはその後順次着手していく。

・欧州電池規則については各社ともに情報を得られずに対応に困っている状況が継続しているが、引き続き欧州の動きを注視して対応を進める。

３-②．審議事項

・なし

４．事務局報告・連絡、その他

・次回開催予定（確定）

2027 年　2 月 4 日（木）　13：30～　機械振興会館 B3-1

・次々回開催予定（予定）

2027 年　10 月 7 日（木）

13：30～　web 会議（仮決め）

以上

2026 年 10 月度の電池工業会活動概要

部会	月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
特別議他会	9日(金)	国際環境規制総合委員会	地域別情報アップデート他
	16日(金)	広報総合委員会	ラジオ広告原稿確認他
二次電池部会	2日(金)	自動車鉛分科会	SBA G 0102 始動用鉛蓄電池を使用する機器－設計に関する技術指針　改正案審議
	7日(水)	据置鉛分科会	JIS C 8704-1 据置鉛蓄電池－ベント式　改正案審議
	9日(金)	充電器分科会	SBAG0901浮動充電用整流装置－保守・取扱いの技術指針　改正審議
	16日(金)	用語分科会	SBA S 0405「二次電池用語」改正審議他
	19日(月)	産電リサイクル委員会、広域認定分科会	広域認定変更申請準備、広域マニュアル作成
	22日(木)	小形鉛分科会	SBA G 0202 小形制御弁式鉛蓄電池－保守・取扱いの技術指針改正案審議
	23日(金)	自動車用電池技術サービス分科会	リーフレット(TS-017)内容修正検討他
	27日(火)	資材委員会	27年度　共用金型更新候補の選定
	30日(金)	電気車鉛分科会	SBA G 0805電気車用鉛蓄電池-保守・取扱いの技術指針　改正審議
二次電池第2部会	5日(月)	CFP規格分科会	産業用LIBのカーボンフットプリント規格対応
	15日(木)	小型全固体LIB輸送WG	小型全固体LIBの輸送規制に関する検討
	16日(金)	国際電池輸送委員会	危険物輸送の国際会議に関する対応
	20日(火)	CFP規格分科会	産業用LIBのカーボンフットプリント規格対応
	21日(水)	法規WG	蓄電池の規制適正化検討
	23日(金)	リチウム二次分科会	IEC62133-2 Ed2 CDV審議
	23日(金)	再資源化委員会	蓄電池再資源化に関する対応
	28日(水)	据置LIB分科会	産業用LIBのIEC規格対応
	28日(水)	定置用LIB普及強化WG	蓄電池の普及強化に向けた戦略実現検討
	29日(木)	ニカド・ニッケル水素分科会	性能規格の改訂審議
	29日(木)	小型全固体LIB輸送WG	小型全固体LIBの輸送規制に関する検討
一次電池部会	7日(水)	規格委員会	IEC60086-1,-2-1,-2-2、-5、JIS関連 審議
	8日(木)	規格委員会	IEC62281、IEC60086-6 審議、TC61/JWG78コメント検討
	14日(水)	TC61/JWG78	運用に関する審議(1回目)
	15日(木)	器具委員会	携帯電灯に関する表示ガイドライン、安全啓蒙に関する審議
	23日(金)	消費者委員会	災害発生時の支援物資 供給対応
	30日(金)	TC61/JWG78	運用に関する審議(2回目)、コメント審議

８月度電池販売実績（経済産業省生産動態統計）

（2026年 8月）

（少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

出展: 経済産業省　生産動態統計(2013年以降、機械統計は生産動態統計へ名称変更しました)

2011年1月より「マンガン乾電池」を「その他の乾電池」に統合されました。

2011年1月より「その他の鉛蓄電池」に「小形制御弁式」が含まれました。

2009年12月より「その他のアルカリ蓄電池」に「完全密閉式」が含まれました。

「その他の鉛蓄電池」は「二輪自動車用」、「小形制御弁式」を含む。

（2011年～2012年は経済産業省生産動態統計の「酸化銀電池」は「その他の乾電池」を含む）

2012年より「リチウムイオン蓄電池」は「車載用」が新設されました。

（2011年までの「リチウムイオン蓄電池」には「車載用」は含まれていません）

「その他の乾電池」を削除する。(2013年経済産業省生産動態統計より)

2017年9月よりアルカリ乾電池「単三」「単四」は公開されていません。

2022年1月より「その他のアルカリマンガン乾電池」は「アルカリ乾電池計」に統合されました。

2022年7月より「アルカリ蓄電池(ニッケル・水素電池)」「その他のアルカリ蓄電池」は「アルカリ蓄電池計」に統合されました。

単位：数量，千個、金額，百万円

	単月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計	315,775	126,420	100%	123%	2,661,449	1,128,315	102%	114%
一次電池計	237,863	10,281	99%	102%	1,876,239	81,809	103%	106%
酸化銀電池	58,322	2,710	99%	146%	532,323	22,264	105%	135%
アルカリ乾電池計	112,193	4,028	105%	94%	744,691	27,919	104%	98%
単 三	－	－	－	－	－	－	－	－
単 四	－	－	－	－	－	－	－	－
その他	－	－	－	－	－	－	－	－
リチウム電池	67,348	3,543	92%	89%	599,225	31,626	99%	99%
二次電池計	77,912	116,139	104%	125%	785,210	1,046,506	101%	115%
鉛電池計	1,898	16,397	97%	102%	18,670	156,804	101%	103%
自動車用	1,458	10,520	96%	99%	14,516	103,124	101%	106%
その他の鉛蓄電池	440	5,877	99%	109%	4,154	53,680	99%	99%
アルカリ蓄電池計	24,006	16,954	89%	93%	222,492	160,871	85%	91%
ニッケル水素	－	－	－	－	－	－	－	－
その他のアルカリ蓄電池	－	－	－	－	－	－	－	－
リチウムイオン蓄電池計	52,008	82,788	112%	141%	544,048	728,831	109%	125%
車載用	20,849	61,943	92%	155%	287,623	540,982	95%	121%
その他	31,159	20,845	132%	111%	256,425	187,849	129%	136%

８月度電池輸出入実績（財務省貿易）

（2026年 8月）

（少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2012年より二次電池の輸入項目「その他の二次」が「ニッケル水素」「リチウムイオン」「その他の二次」に分かれました。

2016年より一次電池の輸入項目「アルカリ」が「アルカリボタン」「アルカリその他」に分かれました。

単位：数量，千個、金額，百万円

	単月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計（輸　出）	152,627	78,306	100%	131%	1,428,450	661,205	103%	124%
一次電池計	102,352	4,547	94%	114%	918,513	38,626	101%	119%
マンガン	0	0	－	－	0	1	－	－
アルカリ	6,959	179	50%	60%	97,600	2,206	113%	110%
酸化銀	53,872	2,482	103%	164%	473,187	19,368	104%	146%
リチウム	41,521	1,886	97%	87%	347,726	16,992	96%	99%
空気亜鉛	0	0	－	－	0	0	－	－
その他の一次	0	0	0%	0%	0	58	9%	53%
二次電池計	50,275	73,759	113%	132%	509,937	622,579	107%	124%
鉛蓄電池	129	1,105	99%	100%	1,226	10,760	117%	113%
ニカド	280	118	296%	341%	1,586	671	147%	113%
ニッケル鉄	0	0	－	－	0	0	－	－
ニッケル水素	8,977	13,476	89%	102%	72,865	120,935	95%	100%
リチウムイオン	30,753	49,178	125%	132%	330,409	419,752	107%	126%
その他の二次	10,136	9,881	108%	244%	103,852	70,461	114%	190%
全電池合計（輸　入）	94,208	84,391	86%	219%	979,548	672,924	95%	187%
一次電池計	86,769	1,925	84%	78%	907,786	19,763	93%	91%
マンガン	6,316	113	105%	95%	52,572	958	87%	91%
アルカリボタン	1,959	16	103%	85%	22,917	214	98%	90%
アルカリその他	62,882	1,053	80%	81%	684,206	11,332	92%	94%
酸化銀	161	12	229%	284%	1,174	84	86%	107%
リチウム	11,583	658	89%	71%	104,722	6,347	100%	100%
空気亜鉛	3,868	62	124%	122%	42,184	733	114%	100%
その他の一次	0	10	3%	14%	11	95	33%	8%
二次電池計	7,439	82,466	106%	229%	71,762	653,161	110%	193%
鉛蓄電池	705	4,178	103%	99%	6,510	41,274	96%	98%
ニカド	20	149	19%	108%	421	1,473	99%	102%
ニッケル鉄	0	0	－	－	0	0	－	－
ニッケル水素	1,505	422	95%	101%	14,711	3,919	106%	113%
リチウムイオン	5,178	70,291	113%	246%	49,647	555,778	115%	207%
その他の二次	31	7,426	71%	273%	473	50,717	82%	228%